

夢と迷いと決断

自身が起業や開業をスタートするに当り、迷いや悩み、不安がない人はおりません。それは起業や開業が自分の人生の大きな分岐点になるとの認識と、これからの生活が全く不確かなさまざまなことがらになると思う不安などからして、当然なことだと思いません。

ですからこれらのことは男女を問わず年齢を重ね、ある程度世間を知ったミドル層の方が、知人や友人に相談した際に直面する場面が多いと思われまます。

貴方が、「実は私はこれから起業や開業をします」と話せば、どんなにご自身が夢をもって資金手当や準備などに身も心も精進して来たとしても、進もうとする方向の識者や周囲の人から、「考えが甘い」とか「世の中がわかっていない」などとの善意の忠告が耳に入ります。

昨年春の起業塾の講師を務めた後に数回のメール交換をした女性の「いつかはワインバーをやりたい」とのAさんのお話です。この8月上旬に下記のようなメールを頂きました。

実は、私はこの10月にワインバー併設のワインショップを、世田谷区尾山台で開店することとなり、現在はその準備で毎日多忙の日々をおくっております。

ワインの買い付けの為にフランスに渡航しており、昨夜帰国いたしました。

残りの人生、守るか攻めるか、随分と悩みもいたしましたが、ある作家の「やってしまった後悔はだんだん小さくなるけど、やらなかった後悔はだんだん大きくなる。」という言葉に深く感銘を受け、起業を決意いたしました。

一円の借金もせず、自己資金だけの身の丈にあった店づくりを始めています。

塩原先生からいただいたお言葉の数々も、心の中に刻まれております。

特に、「わからなくなったときは、その途のプロにどんどん聞け！」この言葉の通りに進んでおります。

私はメールを拝見し起業をスタートする御祝いに、7月末に上梓した「起業いろは塾」の冊子を郵送致しました。数日後、メールにて

先日は思いがけないプレゼントを頂戴し、感激いたしました。「起業いろは塾」改めて自分の起業を見つめ直し、軌道修正するためにも熟読させていただきたいと思っております。

起業前は反対意見も、そして興ってしまった今になっても未だ反対意見を耳にすることもあり、正直、本当にこれで良かったのだろうか、と思う一瞬が全くない、ということもないのです。

でも走りだしてしまっただけですから走り続けるしかないし、もう後ろは振り返りません。「人生の最後に何を残せるか」、そのことに私は焦点を当て、これからの人生を歩いていきたいと思っております。

迷いや後悔は、何かしても生じるが、何もしなくとも同様だと私も経験上熟知しています。人間誰しも夢を持ち、前に進もうとすれば迷い、そして決断を迫られます。

Aさんの前途が明るく、何かを残せる人生であって欲しいと願わずにおれません。

